

阿賀浦コミ協だより

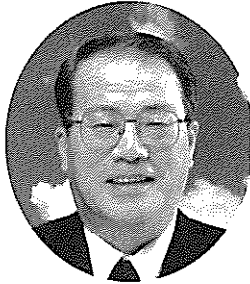
平成25年1月28日

広報第13号

阿賀浦コミュニティ協議会

年頭のご挨拶

あけましておめでとうございます



阿賀浦コミュニティ協議会

会長 藤田 勇

日頃、皆さま方には阿賀浦コミュニティ協議会事業推進に、ご協力、ご支援を賜り厚く感謝申し上げます。

また、今年度のコミュニティ協議会事業に地域学園の耐震工事のため、あまりご利用いただくことが出来ず、大変ご迷惑をおかけいたしました。防災上の観点の工事からご理解いただきたいと思います。

さて、皆さますでにご存じのとおり少子化社会による人口減少、それに伴い急速に進む高齢化社会の動きは顕著であります。先般、国立社会保障人口問題研究所から将来推計人口が発表され、2005年の1億2千7百7拾7万人をピークとし、その後2025年には1億2千万人を下回り、2045年には1億人を割り込むことが予測されるとのことです。

このようなことから、去年の年頭のあいさつの中でも申し上げましたが、児童の減少化に伴い、新潟市教育委員会では、子供たちの教育効果並びに教育環境の向上を図る上での望ましい学校適正配置の検討がなされ、小・中学校適正配置(案)の発表があったところです。このような人口減少化が高く見込まれる現在、今後、小・中学校の適正配置等の課題は避けては通れないのではないかと考えられます。

少子化対策などについてはいろいろあるかと思いますが、少子化が日本に対し様々なデメリットをもたらすことは強く懸念するところではないでしょうか。何らかの対策が必要であろうと思います。

昨年末に実施された衆議院選挙に於いては多くの政党が生まれ多くの政策論争がなされましたが、少子化対策についての論議があまりなかったようで非常に残念でなりません。

新政権には多に期待したいものですし、時代にあった諸施策により歯止めのかかることを強く願うところです。

最後に会員の皆さまには新年がさらに充実した年になりますようご祈念申し上げますとともに、ご健勝とご多幸をお祈り申し上げ年頭のご挨拶といたします。

住民バス社会実験運行の開始



秋葉区自治協議会委員

小川 一雄

新年明けましておめでとうございます。

今年もよろしくお祈り申し上げます。

さて、秋葉区自治協議会で検討され、実施されることになった事業等について、ご紹介させていただきます。

1点目は、平成24年度自治協議会提案事業「公共交通空白地域のバス運行」についてであります。

自治協議会提案事業予算の活用により、図のとおり社会実験運行が開始されました。

期間は、平成24年12月17日から2月15日の2ヶ月間の運行で、始発は新津駅西口から終点とする下越病院折り返しとなっています。1日4便、土を除く週5日の運行となっています。通院や買い物にご試乗下さい。

そして、もう1点は、新津図書館の改築です。



新津図書館改築のお知らせ

市街の中心「日宝町」にある新津図書館は、築35年を経過し、機能低下などによる物理的限界を迎えている。このようなことから、多様化する利用者ニーズに対応すべく、サービス体制を整備するために改築を行うことになりました。建設概要は右記のとおりです。

建設場所	現施設に隣接する駐車場用地
敷地面積	約3,900㎡
建設規模	鉄骨造り2階建 2,992㎡
工事期間	平成25年1月から平成26年3月まで
会館予定	平成26年秋会館予定

平成24年度各部実施行事

24年度に実施した各部の行事について、各部長から実施状況報告をいただきましたのでご紹介します。

文化教養部

部長 阿部和博

今年も恒例となった下記の3行事を大勢のご参加をいただく中に無事終了することが出来ました。ご協力に感謝申し上げます。

- ① 第3回盆踊り大会……8月11日、阿賀浦地区社会福祉協議会と共催で新津地域学園グラウンドを会場に開催。特別賞・参加賞・仮装賞等を用意、開催認知度アップ、各賞ゲットの動き等から昨年より多い約450人が集結。新津松阪の重厚で優雅な踊りにしばし酔いしれ、楽しい夏の一時を過ごしていたきました。
- ② 第6回芸能祭……五中に会場を移して第3回目の芸能祭。カラオケを含めた22の演目によるステージが華々しく繰り広げられました。円熟味を増した演技や、時には笑いを誘う芸に観衆は魅了されました。その後の賑やかな懇親会では参加者一同大いに盛り上がり、親睦が図られました。
- ③ 第6回史跡めぐり……戊辰戦争の第二段。10月28日、37名を乗せた観光バスは大安寺の岡講師の案内で、戊辰公園、護国神社、旧小澤家、みなとびあなどの新潟市内の史跡を回りました。身近な所での戦跡に皆驚くことひとしおでした。



戊辰の役殉職者墓苑（護国神社）

保健福祉部

部長 城向政秀

保健福祉部では、新規事業を含め下記の4事業を実施しました。ご協力ありがとうございました。実施にあたっての成果・課題等を含め報告します。

① 第6回ゲートボール大会

実施日：6月3日(土) 会場：七日町ゲートボール場

参加者：39名

優勝 東金沢 第二位 大安寺 第三位 新金沢町

課題：協議専門者不足。ルールを簡素化し、誰でも出来るようにしてはどうか。



② 第6回ソフトボール大会

実施日：9月29日(土) 会場：阿賀小学校グラウンド

参加者：68名

優勝 中新田 第二位 東町 第三位 東金沢

課題：場所及び予備日の点から土曜日実施したが、日曜日開催の要望が大



③ 第3回フローカーリング大会

実施日：11月11日(日) 会場：新津B&G海洋センター

参加者：90名

優勝 新金沢Cチーム 第二位 中新田Cチーム

第三位 新金沢Bチーム

成果：初めて午後まで延長し、試合数アップ。ゲーム並びに昼食会場では小学生から高齢者までの世代間交流・親睦の深まり。



④ 介護予防運動(運動器障害予防)【新規事業】

期間：6月より毎月第一火曜日

会場：地域学園(6月～9月と来年3月以降 午前)

勤労青少年ホーム(10月～3月予定 午後)

参加者：20名～30名

介護を受けずに「あの世まで歩いて行こう1, 2, 3」を念頭に大学の先生等によるゲームを取り入れた運動「ロコモ体操」と、個別実施の「ラジオ体操100日運動」を展開。

◎上記二つの体操は途中からでも参加できます。

100日運動認定証授与者 おめでとうございます。

中新田 鈴木熊雄さん 東金沢 明間友子さん 夏井律子さん

新金沢町 齊藤晴美さん

※ラジオ体操のテープを希望される方は担当までご一報ください。

今年も積極的に参加し、心と体の健康づくりに励みませんか。

**子ども育成部**

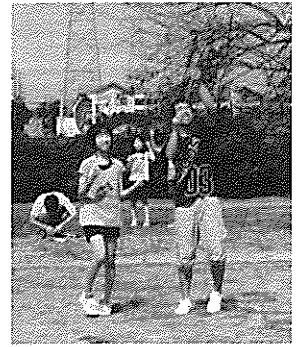
部長 嶋倉陽平

子ども育成部では、「凧作り・凧揚げ」と「ドッチ・ビー」を行いました。9月16日(日)の「凧作り・凧揚げ」は、こどもたち30名の参加でした。昨年も参加しましたという人もおられ作りあげる時間が昨年よりも早くなったようでした。うまく作るポイントを2～3点付属の説明書に加えて皆さんに説明しましたが、聞きなおしてくるこどもや父兄の方もおられ、みんな慎重に作っていました。その後、出来上がった凧をみんなグラウンドで揚げることができました。親子で作ったり、竹ひごや和紙を使ったりと楽しい時間が過ごせたのではないのでしょうか。

11月18日(日)は、「ドッチ・ビー」を行いました。参加したこどもは90名でした。案内状を2回配布したことと参加賞のお菓子の詰め合わせにバーモンドカレーを付けたことが好評でたくさんの子供たちが参加してくれました。

4チームに分けて4ゲーム行いました。初めての種目でしたがドッチボールのルールと同じなので皆さんすぐにわかっていただきました。違うのはボールに変わりソフトフリスビーを同時に3個コートに入れることです。かなりスリルがあります。小さい子も、ふだんあまり走らないような女の子も目を輝かせて走り回っていました。1ゲーム3セットマッチにしたので十分に楽しめたようでした。

いつも家でやっているゲームにはない面白さがあります。来年もたくさんの方に参加していただきたいと思います。



特集

東金沢地内で遺跡発掘調査が行われています。発掘担当（新潟市文化財センター）にお伺いし、この地域の大昔の生活様式等が知られるお話をご寄稿いただきました。

鎌倉・室町時代の田園風景

—— 細池寺道上遺跡の発掘調査から ——

前山 精明（新潟市文化財センター）

新潟市文化財センターでは、両新地区の一角に位置する細池寺道上（ほそいけてらみちうえ）遺跡の発掘調査を5年前から行っています。調査は県営圃場整備で遺跡が失われる場所を対象とするもので、今年東金沢集楽の南に隣接する5,000㎡ほどの区域で7月中旬から12月下旬まで行いました。この遺跡は、奈良時代（西暦8世紀代）・平安時代（9世紀～10世紀代）・鎌倉～室町時代（13世紀～15世紀）に営まれた集楽跡です。今年の調査地は、鎌倉～室町時代に全域が水田や畠として利用されていました。

写真は調査現場を南から撮影しました。中央に見える低い場所は水田の跡です。幅5mと10mほどの細長い水田が5m前後の間隔をおいて南北に並びます。ともに地面を30cmほど掘り下げたもので、大正年間まで付近に存在した「堀田」と似た特徴をもちます。白線で囲んだところは、畠の畝の名残です。畝そのものは既に無くなっていますが、畝間の土が強い粘性を帯びているところから、鎌で土を薄く削りながら畠を探ることができました。

白線で示した畝間の数は、2,000箇所以上にのぼります。ラジコンヘリによる空中写真撮影は12月21日に行いました。調査地全体に広がる白い白線は、地上絵を想わせるような見事な眺めでした。

明治43年の地形図を見ると、遺跡周辺には「堀田」が帯状に連なり、その周囲一帯には畠が広がっていました。本年の調査地に現れた鎌倉～室町時代の農地は、そうした景観と良く似ており、耕地整理以前の土地利用の様子がそのころまで遡ることが明らかになりました。これまでの遺跡調査では水田探しに感心が集まり、畠はマイナーな存在でした。米は為政者によって年貢の対象物となりました。そのため、農民の生活は米だけでは成り立たず、畠作物が重要な役割を担っていたようです。細池寺道上遺跡から見つかった広大な畠地は、そうした歴史の真相を伝える貴重な資料となるでしょう。



(広報部撮影)

川柳コーナー

- 近いうち 言ったでしようと言葉
- 糖尿系 清き一票 無糖派へ
- 我身より 景気回復 願う民
- 蛇の皮 軽き財布に入れ直し
- 阿賀コミの航路も出来た 宝船

～ あ、無情作 ～

編集後記

民主党が駄目だったからの反動か？。自民党への政権交代が年末にあり、新政権の経済対策による円安化の動きなどが毎日、新聞・テレビなどで流れる。また、学校週六日制の復活情報ありなど、甚だ忙しい様子。どうか上手く行くようにと期待するところである。

しかし、この動きが実際に我々のお財布に実感できるように、こどもたちには大変にならないよう等、世の中が良くなるよう「一切に切にお願いするばかり」。なんか切に先日の選挙立候補者の言葉みたい。

広報部一同